

# ひとりひとりが活躍できる 社会をめざして

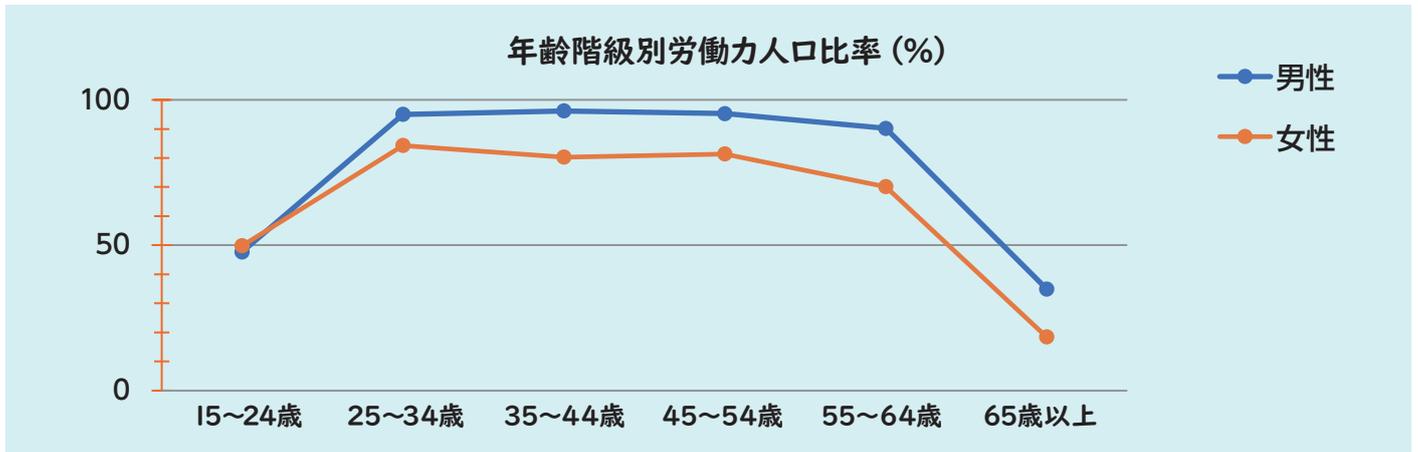
## ①資料から見る日本の社会 その1

将来のことについて考えてみよう。



図1のグラフを見て、分かることや考えたことを書きましょう。

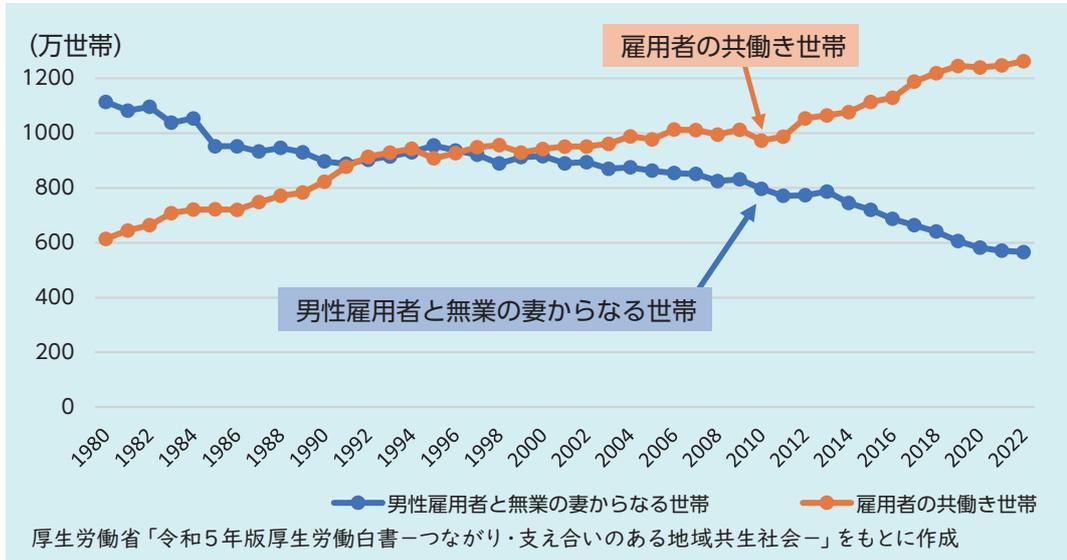
(図1)【参考資料】「労働力調査(基本集計)2022年(令和4年)」(総務省統計局)より



## ②資料から見る日本の社会 その2

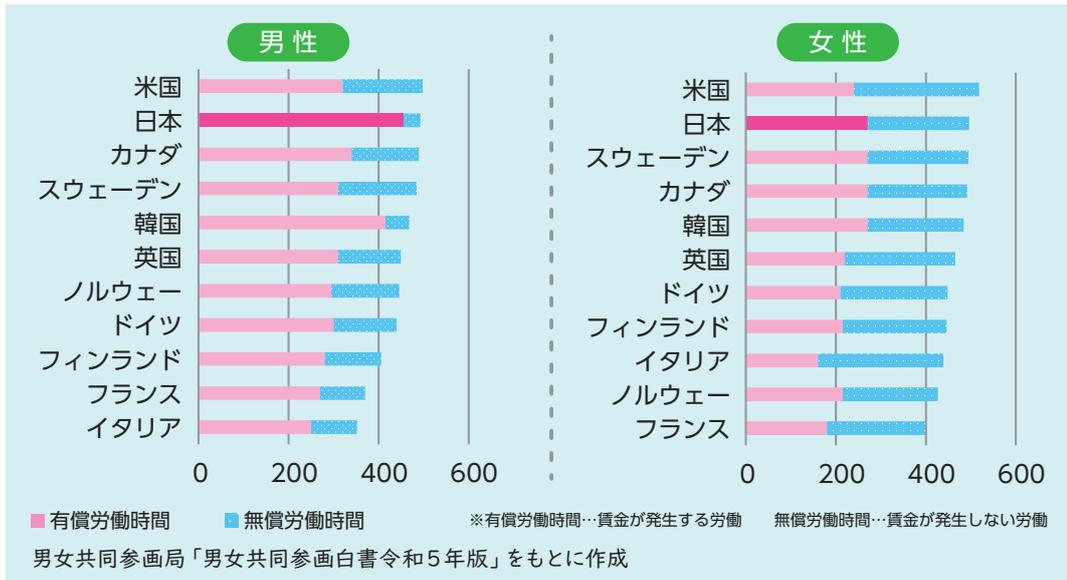
図2, 図3のグラフを見て分かることや考えたことを書きましょう。

(図2) 共働き等世帯数の年次推移



分かること

(図3) 労働時間の国際比較



誰もが「自分らしさ」を発揮して働くためには、社会全体として、どんなことが必要でしょうか。あなたの考えを書いてみよう。

### ③あなたらしさ・その人らしさ

家庭や学校で、周りの人から性別を理由として、納得できないことを言われたり、見たり聞いたりしたことはありますか。具体的な場면을挙げてみましょう。

そのようなとき、どのようにすれば、納得できるでしょうか。周りの人と話し合ってみましょう。

(話し合ったこと)

あなたも、周りの人も、誰もが「自分らしさ」を発揮して生きるためには、ということが大切でしょうか。



#### 参考資料

#### ★知っていますか？ SOGIESC (ソジエスク) ※1

SOGIESCは「性のあり方」を表す4つの側面、性的指向(Sexual Orientation)、性自認(Gender Identity)、ジェンダー表現(Gender Expression)、性の身体的特徴(Sex Characteristics)の総称です。

性的指向 (Sexual Orientation)	性自認 (Gender Identity)	ジェンダー表現 (Gender Expression)	性の身体的特徴 (Sex Characteristics)
<ul style="list-style-type: none"><li>●性愛・恋愛の感情がどの性に向かうかを示す概念。</li><li>●異性愛(異性にひかれる)、同性愛(同性にひかれる)、両性愛(両性にひかれる)、無性愛(どの性にもひかれない)等、様々なあり方がある。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>●自分自身の性別に対する認識。性同一性とも表現される。</li><li>●シスジェンダー(体の性と同じと感じる)、トランスジェンダー(体の性と異なると感じる)の他、自分の性が分からないと感じる等、様々な認識がある。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>●外見上の性の表現。</li><li>●服装、髪型、しぐさ、声、話し方、その他の行動等を通じて表現される。</li><li>●個人の性自認に一致する場合もあれば、一致しない場合もある。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>●染色体、ホルモン、生殖器、体毛、声の高さ等の第二次性徴を含む、個人の身体的および生物学的特徴。</li><li>●思春期頃になると、特徴が現れる人が多いが、現れ方には個人差があり、はっきりしないこともある。</li></ul>

※1 独立行政法人国際協力機構 (JICA) グローバル・アジェンダ: 参考資料・ガイダンスノート「多様なSOGIESCの包摂に係る調査実施」を参考に作成

#### ★性の権利 (Sexual Rights)

性は体や心だけでなく社会とも結びついた、私たちを形作る重要な要素であり、基本的人権により尊重されるものの一つです。性のことを考えたり話したりすることは恥ずかしいことではありません。性を理由にからかったり、真剣な話を茶化したりすることは相手の尊厳を深く傷つけることにつながります。お互いを尊重し合うためにも性の話に真摯に向き合いましょう。もし、性について悩みや気になることがあるときは、保健の先生や相談窓口※2に尋ねることもできます。

※2 LGBTQ+電話相談 Tel:025-241-8510 毎月第1月曜日 17:30~20:00 (祝日・年末年始除く)

## ④個性や能力を発揮して…

(令和元年度当時) 警察官 廣瀬 未来 さん

高校生の頃、私が電車内でちかんに遭った時に犯人を捕まえてくれた刑事さんに憧れて、私も警察官、中でも刑事になりたいと思うようになりました。

例えばいせつ事件の被害に遭った女性の心に寄り添って事情聴取をすることは、女性警察官にしかできない仕事と言えますし、それに基づいて捜査を進め、凶悪な犯人を捕まえることができた時には、被害者の安全と安心を守ることができたやりがいを感じます。

現在私は、1歳の子どもを保育園に預けながら仕事をしています。育児にも仕事にも一生懸命取り組み、充実した毎日を送っています。



(令和元年度当時) 警察官 伊藤 直人 さん



私は、小学生の時に祖母が交通事故に遭いひどい怪我をしたことがあり、そのような姿を二度と見たくないと思って、交通事故を社会からなくすため、取締りや様々なイベントで広報活動を行っている警察官になりました。そして、警察官になるため、中学時代は部活と両立しながら、一生懸命に勉強をしていました。

普段の仕事で町の中をパトロールして、交通違反をした運転手がいれば取締りを実施し、私達の姿を運転手に見せて、交通事故を未然に防ぐ活動等をしています。

これからも、交通事故をなくすため積極的な取締りと広報活動を行っていききたいと思います。

自分の個性や能力を生かした進路選択や将来について、学習を通してどのように考えましたか。

家の人から感想やメッセージを書いてもらいましょう。

### 保護者の皆様へ

新潟大学 教育実践学研究所 教授 相庭和彦

中学2年生は「心も体も」大人になり、自らの将来をリアリティーをもって考えることのできる時代に生きています。ふるまい方も大人を意識して、服装や好みも目の前にある現実を大人へのロールモデルとして活動していく子どもたちは意識していきます。その多感な時代に「女の子だから」とか「男の子だから」を理由に考え方や行動を規制しては、子どもたちの将来の可能性を狭めてしまいます。この時期に大切な学習活動へのモチベーションも下がりがねません。

私たち教職員は、生徒たちの未来のために性別に基づく「らしさ」にとらわれず、「自分らしく」個性を発揮できる教育を創っていく努力をしています。それが男女平等教育を推進することでもあります。おうちの方も子どもたちと話し合ってみてください。